



平成21年度

木津川市予算のあらまし



も く じ

はじめに	1
平成21年度 木津川市予算一覧	2
一般会計歳入予算の内訳は	3
一般会計歳出予算の内訳は	4
グラフでみる一般会計歳入予算	5
グラフでみる一般会計歳出予算	6
平成21年度の主な事業	7
市民ひとりあたりの予算額	13
木津川市の家計は	14

はじめに

市の予算とは

地方公共団体の事務・事業は、計画的に行われる必要があります。そしてそれは、収入の範囲内で行われるべきものです。

そのため、事務・事業を執行する上では、一定の計画をつくり、それにしたがって実施する必要があります。

そこで、地方自治法では、

- ① 地方公共団体の事務・事業の執行計画
- ② その執行に要する経費の財源調達計画
- ③ 経費の支出計画

この3つが一体となった計画、すなわち『予算』を作成し、これにしたがって事務・事業の執行及びこれに伴う経費の支出を行うべきものとしています。同法では、毎年4月1日から翌年3月31日までを1会計年度とし、この1年間における一切の収入と支出を予算にあげなければならないものとしています。

このように『予算』とは、事務・事業の執行計画を歳入・歳出という形で数量化してとりまとめた、地方公共団体の1年間の設計書というべきものです。

どうやって決まるのか

市役所の各部署では、翌年度に行う事務・事業の内容について検討し、それに伴う1年間の収入額と支出額の案を出します。その案をもとに、市長は施政方針によって、限られた財源の中で行うべき事務・事業についての予算案を作成し、市議会へ提案します。市議会は、提案された予算案について、さまざまな議論を重ねながら審議します。そして議会での決定を経て最終的に予算が決まります。

また、1年間のうちには、予算案作成時の計画と状況が変わることがあります。そのときには、補正予算を作って当初の計画変更を行います。もちろん、補正予算も議会での決定を経て決まります。

一般会計と特別会計

一般会計は、市の仕事の中でも基本的な経費（例えば福祉や教育、道路、公園などの整備、管理などに必要なお金）についての会計（財布）であり、市財政運営の基本となるものです。

特別会計は、特定の事業を行う場合に、特定の歳入を特定の歳出にあてるため、一般会計と区別する必要があるとき（区別した方が効率的な予算管理ができるときなど）に、法律や条例に基づいて設けられます。

家庭でも、目的によって財布を分けることがありますね。

国民健康保険特別会計

自営業の方や退職者などの医療費を給付する会計です。国民健康保険税が主な収入です。

介護保険特別会計

要介護（要支援）認定を受けた方の、介護給付費などを給付する会計です。介護保険料が主な収入です。

老人保健特別会計

75歳（一定の障害のある方は65歳）以上の高齢者の医療費を給付する会計です。昨年4月から後期高齢者医療制度が始まりましたので、本年度予算では昨年3月分以前の遡及分のみを計上しています。

後期高齢者医療特別会計

老人保健制度にかわり平成20年4月から始まった医療制度によるもので、75歳（一定の障害のある方は65歳）以上の高齢者の医療費を給付する会計です。保険料が主な収入です。

水道事業会計

飲用に適する水を供給する事業に関する会計です。地方公営企業法が適用される給水人口が5千人を超えるものをいいます。料金収入が主な収入です。

公共下水道事業特別会計

水質保全・住環境の改善を図るため、下水道事業（汚水処理・施設整備）を行う会計です。下水道使用料が主な収入です。

簡易水道事業特別会計

水道事業のうち、給水人口が5千人以下のものを簡易水道といいます。

財産区特別会計

市町村の一部で財産を有し又は公の施設を設けているものを財産区といいます。財産区それぞれの財産収入が主な収入です。

平成21年度 木津川市予算一覧

(単位：千円、%)

会 計 別		平成21年度 予算額	平成20年度 予算額	比 較		
				増 減 額	増 減 率	
一 般 会 計		22,228,000	22,700,000	△ 472,000	△ 2.1	
特 別 会 計	国民健康保険特別会計	5,558,326	5,176,020	382,306	7.4	
	老人保健特別会計	9,372	387,119	△ 377,747	△ 97.6	
	後期高齢者医療特別会計	532,072	531,010	1,062	0.2	
	介護保険特別会計	3,423,447	3,244,733	178,714	5.5	
	公共下水道事業特別会計	2,525,638	2,694,194	△ 168,556	△ 6.3	
	簡易水道事業特別会計	153,825	355,000	△ 201,175	△ 56.7	
	旧北村旧兔並村旧里村 財産区特別会計	3,400	2,000	1,400	70.0	
	旧加茂町財産区特別会計	2,700	1,600	1,100	68.8	
	旧瓶原村財産区特別会計	6,800	6,600	200	3.0	
	旧当尾村財産区特別会計	4,000	6,400	△ 2,400	△ 37.5	
計	水道 事業 会 計	収益的収支 (税込み)	1,437,711	1,442,804	△ 5,093	△ 0.4
		資本的収支 (収入：税込み)	2,492,512	2,498,723	△ 6,211	△ 0.2
		資本的収支 (支出：税込み)	2,724,482	2,942,279	△ 217,797	△ 7.4
	特別会計小計 (資本的収支を除く)		13,657,291	13,847,480	△ 190,189	△ 1.4
合 計		35,885,291	36,547,480	△ 662,189	△ 1.8	

一般会計歳入予算の内訳は

(単位:千円、%)

区 分		予 算 額	構 成 比
1	市税	8,463,756	38.1
2	地方譲与税	210,091	0.9
3	利子割交付金	63,000	0.3
4	配当割交付金	22,000	0.1
5	株式等譲渡所得割交付金	9,000	0.0
6	地方消費税交付金	436,000	2.0
7	ゴルフ場利用税交付金	84,000	0.4
8	自動車取得税交付金	100,000	0.5
9	地方特例交付金	151,773	0.7
10	地方交付税	4,530,000	20.4
11	交通安全対策特別交付金	9,400	0.0
12	分担金及び負担金	615,345	2.8
13	使用料及び手数料	299,083	1.3
14	国庫支出金	1,681,211	7.6
15	府支出金	1,029,529	4.6
16	財産収入	41,750	0.2
17	寄附金	410,496	1.8
18	繰入金	1,566,779	7.0
19	繰越金	1	0.0
20	諸収入	131,086	0.6
21	市債	2,373,700	10.7
歳 入 合 計		22,228,000	100.0

一 般 財 源	16,352,481	73.6
特 定 財 源	5,875,519	26.4
歳 入 合 計	22,228,000	100.0

○市税

住民のみなさんから市に納めていただいている税金(市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、都市計画税など)です。

平成21年度予算では…前年度当初予算と比べて0.9%、約7,300万円の減額を見込んでいます。

○地方交付税

国税(所得税など)の一部から、地方公共団体の財政力に応じて国から交付されるお金です。

平成21年度予算では…前年度当初予算と同額の45億3,000万円を見込んでいます。

○国庫支出金・府支出金

国・府が特定の事業などに対し交付する負担金や補助金などです。

平成21年度予算では…国庫支出金では州見台小学校建設事業負担金・補助金の減額などにより約2億3,700万円の減額を、府支出金では後期高齢者医療特別会計繰入金や福祉医療給付費などの増額により約4,200万円の増額を見込んでいます。

前年度当初予算と比べて6.7%、約1億9,500万円の減額を見込んでいます。

○繰入金

他の会計や基金等から受け入れるお金です。

平成21年度予算では…「財政調整基金」から約7億1,200万円、「公共施設等整備基金」から8億円を繰り入れるなど、歳入歳出の均衡を図っています。

前年度当初予算と比べて1.9%、約3,000万円の減額となっています。

◇財政調整基金:予期しない収入減少や支出増加といった年度間の財源の不均衡を調整するための基金(市の貯金)

◇公共施設等整備基金:特定の目的のために設けられた基金(特定目的基金)のひとつで、公共施設等の整備の円滑化と促進を図るために設けられた基金

○市債

大規模な事業などを行うために国や金融機関などから長期にわたり借入れるお金を地方債といい、市が発行する地方債を市債といいます。

平成21年度予算では…州見台小学校建設事業債や本庁舎建設事業債などで減額となる一方、学校給食センターの新設などが増額となり前年度と比べて7.5%、約1億9,200万円の減額となっています。

一般会計歳出予算の内訳は

(目的別)

(単位:千円、%)

区 分	予 算 額	構 成 比
1 議会費	227,196	1.0
2 総務費	2,889,508	13.0
3 民生費	6,467,572	29.1
4 衛生費	2,326,853	10.5
5 農林水産業費	237,732	1.1
6 商工費	118,337	0.5
7 土木費	2,977,561	13.4
8 消防費	983,930	4.4
9 教育費	3,434,794	15.5
10 災害復旧費	5	0.0
11 公債費	2,535,301	11.4
12 諸支出金	1	0.0
13 予備費	29,210	0.1
歳 出 合 計	22,228,000	100.0

(性質別)

(単位:千円、%)

区 分	予 算 額	構 成 比
1 人件費	4,389,557	19.7
2 物件費	3,481,023	15.7
3 維持補修費	237,853	1.1
4 扶助費	2,404,238	10.8
5 補助費等	3,419,280	15.4
6 公債費	2,535,301	11.4
7 積立金	13,210	0.1
8 投資及び出資金	0	0.0
9 貸付金	1	0.0
10 繰出金	1,804,919	8.1
11 予備費	29,210	0.1
12 普通建設事業費	3,913,403	17.6
補助事業費	1,198,013	5.4
単独事業費	2,664,737	12.0
受託事業費	20,000	0.1
府営事業負担金	30,653	0.1
13 災害復旧事業費	5	0.0
補助事業費	0	0.0
単独事業費	5	0.0
歳 出 合 計	22,228,000	100.0

歳出予算については、議会費や消費費などのように、どのような目的であるのかを示す目的別と、人件費や普通建設事業費などのように、どのような性質であるのかを示す性別の分類方法があります。

○人件費

市議会議員や市の職員、選挙管理委員や教育委員など各種委員の報酬、給与、共済費などです。

平成21年度予算では…前年度当初予算と比べて約200万円の増額となっています。

○物件費

需用費(消耗品費や光熱水費など)、役務費(通信運搬費や手数料など)、臨時職員賃金、旅費、委託料など消費的性質の経費の総称です。

平成21年度予算では…前年度当初予算と比べて0.6%、約1,900万円の増額となっています。

○扶助費

社会保障制度の一環として、各種法令などに基づいて支出される生活保護費や諸手当、医療費助成などの経費です。

平成21年度予算では…児童手当や児童扶養手当、福祉医療費などの増額により、前年度当初予算と比べて9.9%、約2億1,800万円の増額を見込んでいます。

○補助費等

各種負担金や団体への補助金などの経費です。

平成21年度予算では…民営保育所への入所児童にかかる市負担分の支出や運営補助、後期高齢者医療広域連合負担金などの増額により、前年度当初予算と比べて3.8%、約1億2,500万円の増額を見込んでいます。

○公債費

過去に借り入れた地方債の元利金償還などに要する経費です。

平成21年度予算では…前年度当初予算と比べて0.6%、約1,400万円の増額となっていますが、高金利時代の債務の繰上償還分が約4,500万円含まれています。

○繰出金

他の会計に対して支出する経費などです。

平成21年度予算では…介護保険特別会計や後期高齢者医療特別会計への繰出金の増額などにより、前年度当初予算と比べて4.5%、約7,700万円の増額となっています。

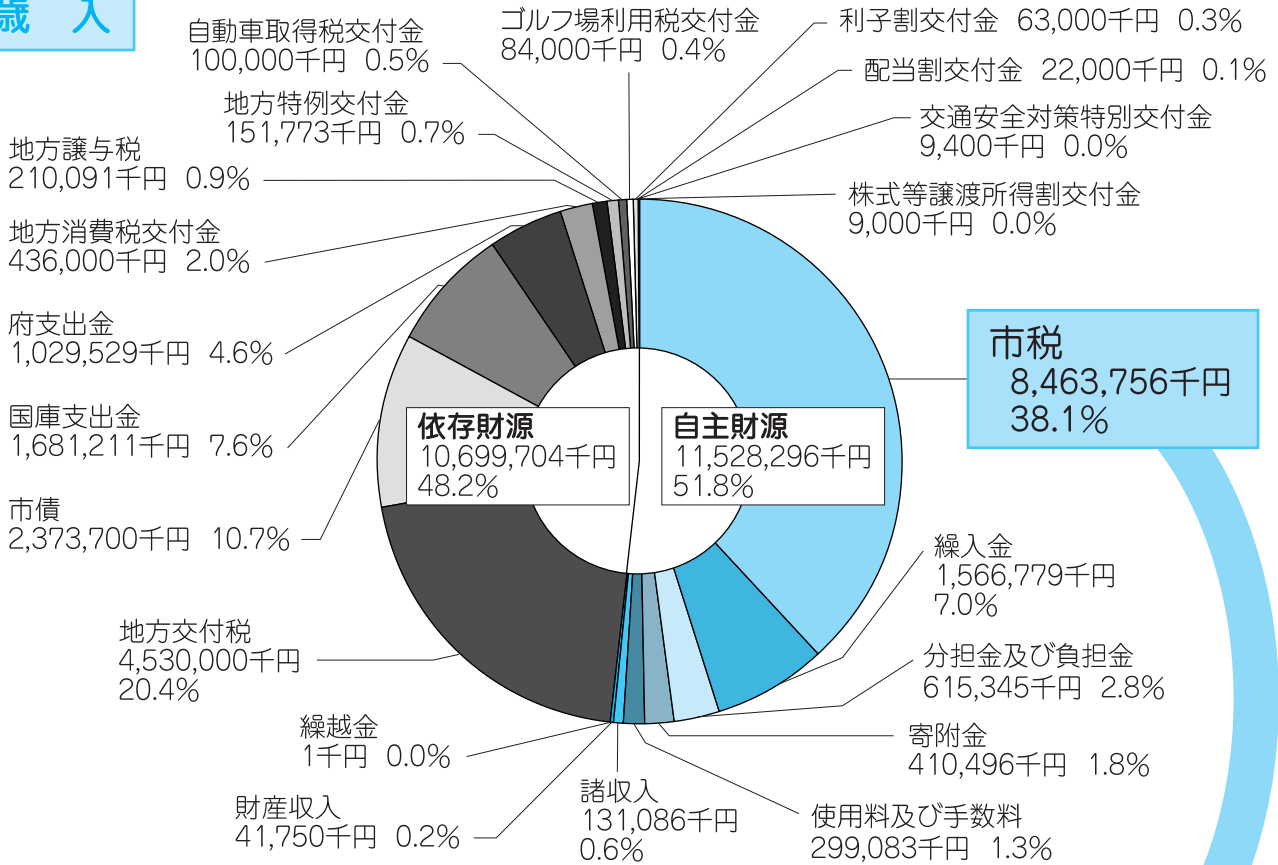
○普通建設事業費

道路、学校、公園などの公共施設の整備に要する費用です。都市再生機構が代替施行した事業に対する償還金も、普通建設事業に分類されます。

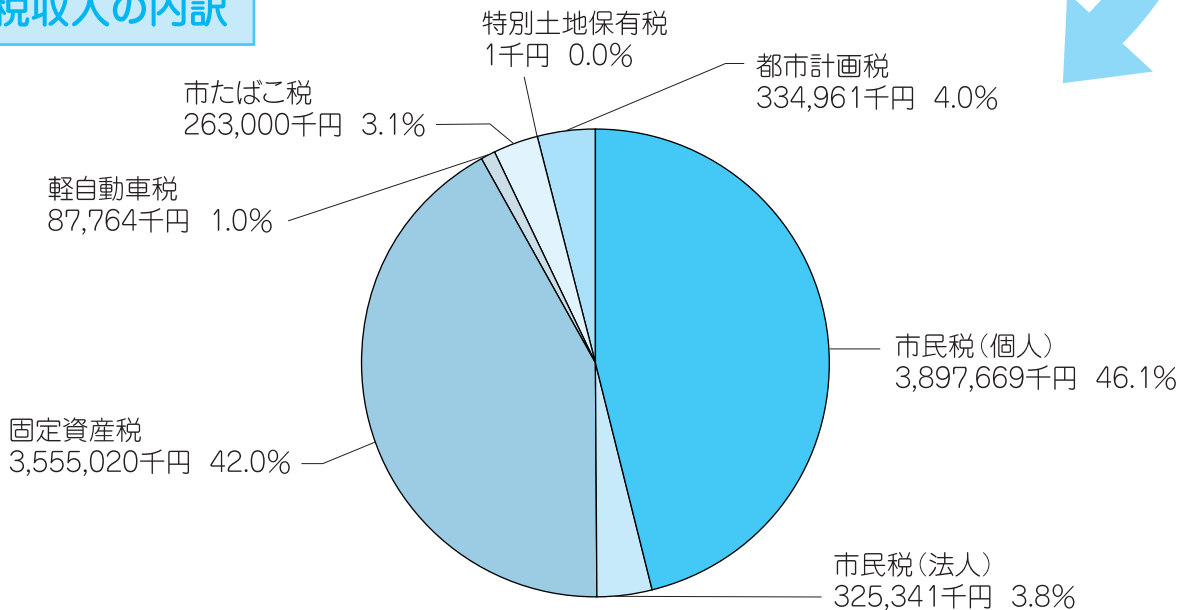
平成21年度予算では…学校給食センターの新設、木津城址公園建設などが増額となる一方、本庁舎建設、上人ヶ平公園建設などの減額により前年度当初予算と比べて19.0%、約9億1,600万円の減額となっています。

グラフでみる一般会計歳入予算

歳入



市税収入の内訳



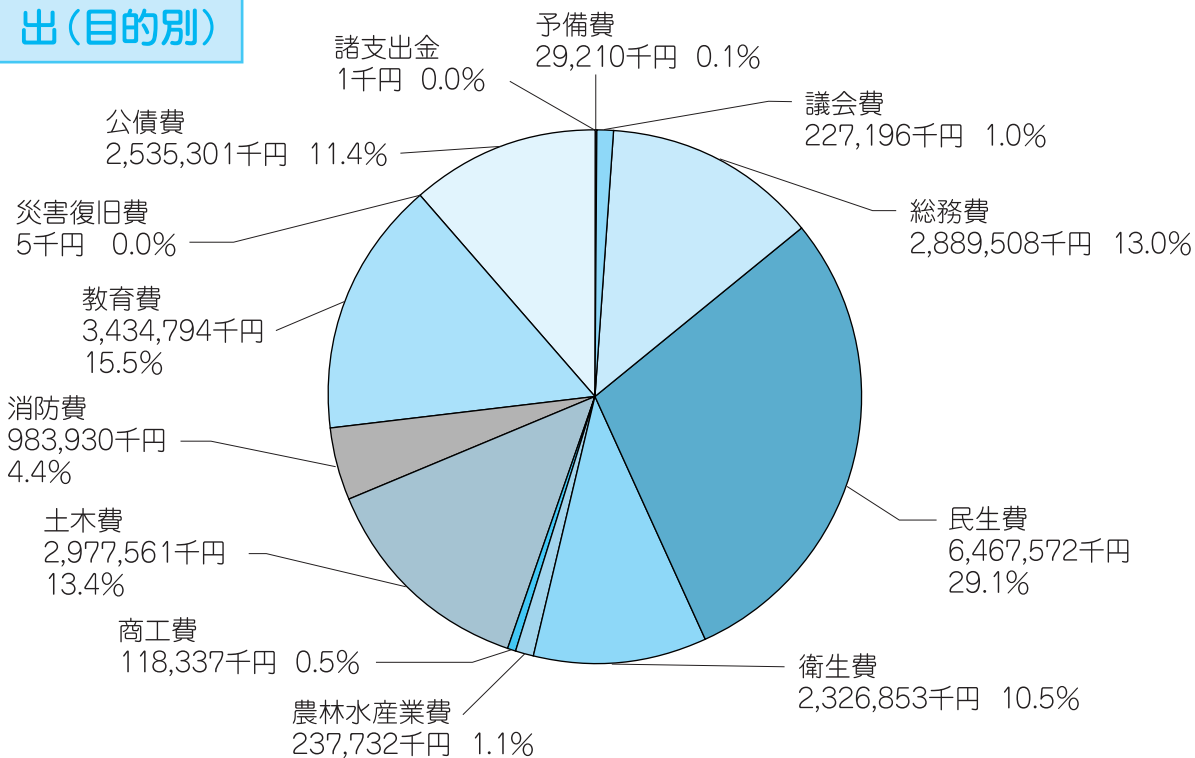
自主財源と依存財源

市が自主的に収入できる財源を自主財源、国や府などから得る財源を依存財源といいます。自主財源が多いほど、自治体運営において安定した運営ができるとされています。自主財源の大部分を占める市税収入は、歳入全体の3分の1強となっています。

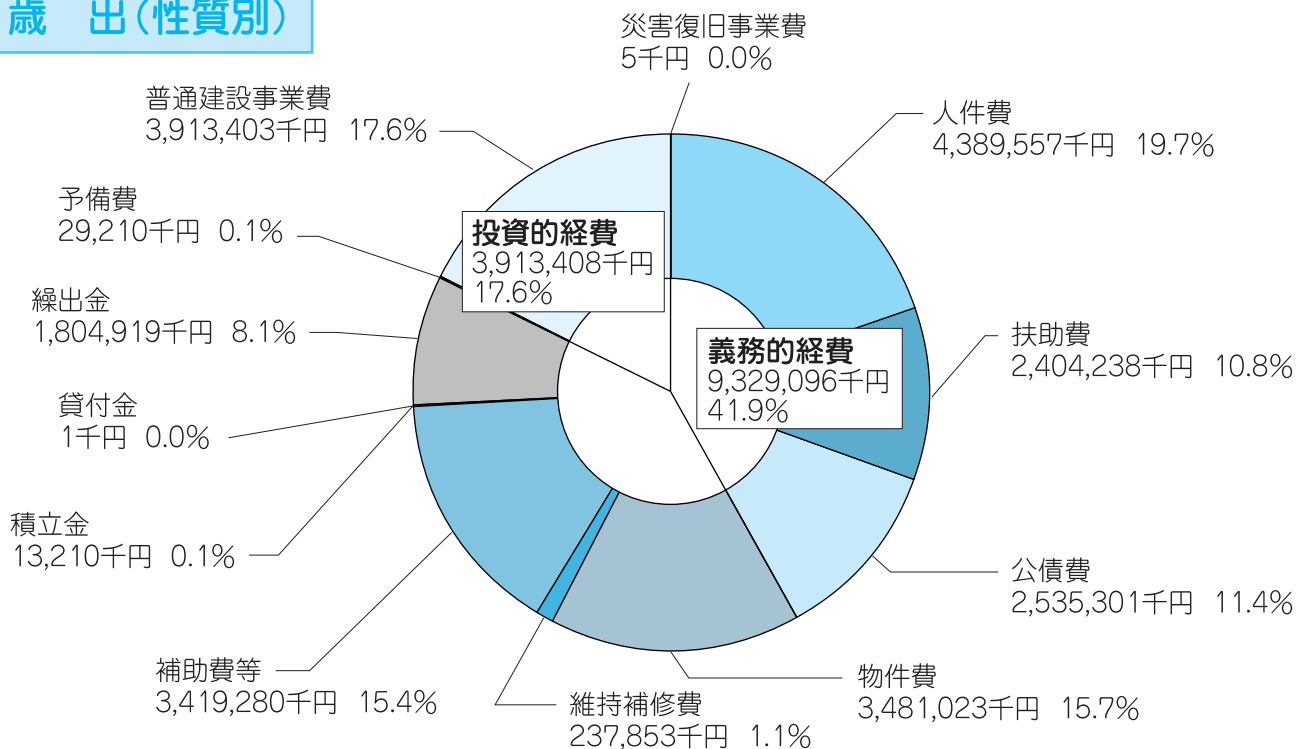
今年度の予算では、自主財源と依存財源の割合はほぼ同じとなっていますが、自主財源の中に財源不足を補うための基金繰入金が約7分の1を占めており、財政状況は厳しいといわざるをえません。

グラフでみる一般会計歳出予算

歳出(目的別)



歳出(性質別)



義務的経費と投資的経費

人件費、扶助費(法令等に基づく生活保護費や諸手当、医療費助成などの経費)、公債費(過去に借り入れた地方債の元金償還など)は、その支出を任意に節減できない経費のため、義務的経費とよばれています。今年度の予算では、全体の約42%を義務的経費が占めています。

また、道路や公園、学校などの公共施設の整備に要する経費を普通建設事業費といいます。これと災害復旧事業費、失業対策事業費をあわせて、これらの経費は資本形成に向けられることから投資的経費とよばれています。今年度の予算では、全体の17%強となっています。

平成21年度の主な事業

平成21年度は、活力にあふれ魅力ある木津川市にしていくために、市民や利用者の視点に立った発想の転換により、業務全般の見直しを行い、より良い方向を探求するとともに、「木津川市の将来」を見据えた効率的で無駄のない施策を構築することにより質の高い市民サービスを提供することを基本として予算編成を行いました。

豊かな自然環境と良好な生活環境を確保することにより、安心とゆとりを持って、木津川市のよさにさらに磨きをかけ、市民の皆さんの満足度を高めつつ、良好な都市イメージを創出することを目指し、限られた財源を効率的かつ効果的に運用するとともに、特に「子育て支援」、「安心・安全な教育施設の整備」、「観光資源の活用と地域文化の推進」に重点をおいた予算配分を行いました。

子育て支援

○ 「つどいのひろば」の開設【新規】 376万円

保育園、幼稚園入園までの児童(0～3歳)を養育されている保護者とその子どもを対象に、親子のつどいの場を設けます。絵本の読み聞かせやふれあい遊び、親子体操などを指導員のもとで行うことで親子の交流をはかるとともに、育児に対する悩みや不安、育児疲れなどの解消に向けた相談等を行い、楽しく子育てができるよう支援します。

○ 保育園の建物耐震診断の実施【新規】 337万円

子どもたちが安心してすごせるよう相楽保育園、清水保育園の建物の耐震診断を行います。



耐震診断を行う相楽保育園

○ 私立保育園への助成など 3億429万円

私立保育園への保育の委託とともに、安定的な運営に資するため延長保育、一時保育、障害児保育などの事業に対する補助を行います。

また私立幼稚園に就園する幼児の保護者負担を軽減するため保育料などの減免措置に要する経費について私立幼稚園の設置者に補助を行います。

○ 放課後児童クラブ施設の増築・改修【新規】 2,989万円

より良い環境での児童クラブの運営を目指し、児童数にあわせ小学校の空き教室の改修による増室や児童クラブ施設の増築を行います。



増築する木津川台児童クラブ

○ 福祉医療(子育て支援)の助成 1億4,348万円

安心して子育てができる環境を築くため、出生から小学校就学まで、入院は小学校6年生までにかかる医療費について、府制度にさらに市単独制度分を上乗せして助成を行います。

○ 妊婦健康診査の充実【拡充】 5,567万円

安心して出産ができるよう健康管理の充実を目的として健康診査の公費負担回数を14回に拡充します。

安心・安全な教育施設の整備

○ 小学校普通教室への扇風機設置など、学校教育環境の整備 619万円

教育環境の充実を目的に小学校普通教室への扇風機設置や木津第二中学校のテニスコート造成、山城中学校理科室の換気扇設置を行います。

○ 義務教育施設の耐震補強工事の実施【新規】 7,222万円

安心して学ぶことができる環境を築くため、木津小学校の南校舎及び西校舎の耐震補強工事を行います。

○ 児童数増加に対応し校舎増築【新規】 1億8,306万円

児童数の増加に対応するため州見台小学校に校舎を増築します。

○ 学校給食センターの建設【新規】 8億円

木津南地区の児童・生徒数の増加への対応と現在給食が実施されていない泉川中学校での給食開始、加茂地域の小学校給食の新センターへの統合に向け、新たに学校給食センターを建設します。



耐震補強を行う木津小学校南校舎



敷地内に新給食センターの建設が予定されている泉川中学校

観光資源の活用と地域文化の推進

○ 文化財の保全と活用 4億8,141万円

継続して実施している史跡恭仁宮跡の公有化や高麗寺跡の史跡整備に向けての取組を進めるほか、馬場南遺跡や鹿背山城跡など市内遺跡の調査、文化財保全修理事業等への補助金の交付、木津城址公園の建設【新規】、文化財紹介ソフト等の制作【新規】に取り組みます。

○ 市の魅力発信、観光振興 357万円

市内での祭りやイベントなど催しを紹介するポスター・パンフレットの作成や、木津川市観光協会への補助などを行います。



史跡恭仁宮跡（山城国分寺跡）

○ 地域まつりの支援 300万円

木の津まつり、加茂まつり、やましろまつりの各実行委員会に対し補助を行います。



やましろまつり



加茂まつり

○ 平城遷都1300年と国民文化祭に向けて 2,100万円

実行委員会を立ち上げるなど、平城遷都1300年及び国民文化祭に向けて取り組みます。



その他の施策

地域活性化

○ コミュニティバスの運行、 地域公共交通サービスの充実 1億116万円

便利で親しまれる公共交通機関となるよう、国の制度を活用し地域公共交通総合連携協議会を立ち上げ、市域全体のコミュニティバスについて検討をしています。現在、きのつバス・加茂地域路線(当尾線を除く)・当尾線・山城線・神童子線のコミュニティバス実証実験運行を行っています。



実証実験運行中のコミュニティバス

○ 加茂支所の改修 5,194万円

身近な行政サービスの拠点として加茂支所庁舎を改修します。現在進入路や駐車スペースが狭く建物が老朽化している加茂図書館を1階へ移設するとともに、市民サービス窓口など支所機能を2階に集約します。

○ 行政地域制度のスタート 3,073万円

市内に33の行政地域を設置し、地域と行政との連携により市内の均衡ある発展と地域住民の自治活動の円滑な推進を図るために地域長・副地域長を置くとともに、地域コミュニティの一層の促進を図るための『地域活動支援交付金』や地域コミュニティの育成促進を図るための拠点となる集会所に対する『集会所整備等事業補助金』を設けました。

福祉

○ 福祉医療(障害者)の助成 1億2,103万円

65歳未満の一定の障害がある方で、後期高齢者医療の被保険者でない方の医療費を助成します。

○ **福祉医療(母子)の助成** **4,296万円**

母子家庭親子の医療費を助成します。

○ **高齢者福祉手当等** **1,800万円**

一定の条件を満たす高齢者の方に、生活の安定に寄与するため高齢者福祉手当を支給し、高齢者の福祉向上を図ります。

○ **障害者自立支援給付費等** **4億 7,865万円**

障害者の地域生活と就労を進め、自立を支援するために必要な福祉サービスの提供や医療費の給付などを行います。

○ **障害福祉手当等** **2,411万円**

重度の障害のある方に手当を支給し、福祉の増進を図ります。また、障害があることにより外出が困難な方の生活行動範囲の拡大と社会参加の促進を図るため、福祉タクシー利用券を交付します。

○ **老人医療の助成** **1億1,501万円**

65歳以上70歳未満の方(所得制限などの要件あり)の医療費を助成します。

○ **児童手当等** **5億7,476万円**

児童を養育している方の家庭生活の安定、次代を担う児童の健全な育成のため、児童手当を支給します。

○ **母子福祉の推進** **2億1,908万円**

母子家庭の生活の安定と自立促進を図るため、児童扶養手当を支給するなど、さまざまな支援を行います。

○ **生活保護費** **5億1,902万円**

生活に困っている方々が、健康で文化的な最低限度の生活ができるよう経済的援助を行うとともに、自力で生活できるよう支援します。



元気にグラウンドゴルフ



健やかにいきいきと

環 境

○ **清掃センターの整備に向けて** **1,035万円**

清掃センターの建設に向けた検討を行います。

○ **ごみの処理** **10億2,926万円**

燃やすごみの焼却処理にかかる相楽郡西部塵埃処理組合への負担金をはじめ、ごみの収集運搬、燃やさないごみの中間処理などに要する経費です。ごみの適切な処理に努めます。

○ リサイクル研修ステーションでの取組 **242万円**

ごみ減量化の啓発をはじめ、リサイクル活動のための各種講習会の実践など、地域や一人ひとりから身近にできる地球にやさしい活動の普及・啓発を推進します。

○ ごみの減量化とリサイクル活動の推進 **2,488万円**

資源の有効利用を促進するため、古紙回収に取り組んだ団体などに補助を行います。また、ごみ処理にあたっては、資源の有効利用を図るため、市民のみなさんをはじめ、事業者とも連携した取組を進めます。



市民生活に欠かせないごみ収集

防 災

○ 準用河川の洪水対応能力向上 **4,800万円**

中規模洪水に対応できるよう、準用河川井関川の改修を引き続き進めていきます。

○ 急傾斜地の崩壊対策 **815万円**

鹿背山、大野、神童子、辻の各地区で京都府が実施する急傾斜地崩壊対策事業に対する負担金です。



準用河川井関川改修工事

○ 消防・防災力の向上 **2,188万円**

市消防団活動充実に向けた装備の拡充や災害時用の食糧を備蓄するなど、消防・防災力の向上に努めます。

都市基盤整備

○ 生活幹線道路の整備 **2億2,066万円**

小寺五丁目線、奈良阪川上線、木津東西線【新規】などの生活幹線道路の整備に努めます。

○ 市の玄関口・木津駅前整備 **3億4,624万円**

土地区画整理事業による木津駅前地域の整備を引き続き実施します。

○ 本庁舎へのアクセス向上 **2億8,469万円**

木津山田川線の道路改良とともに、周辺街路の拡幅を行い、本庁舎へのアクセス向上に努めます。



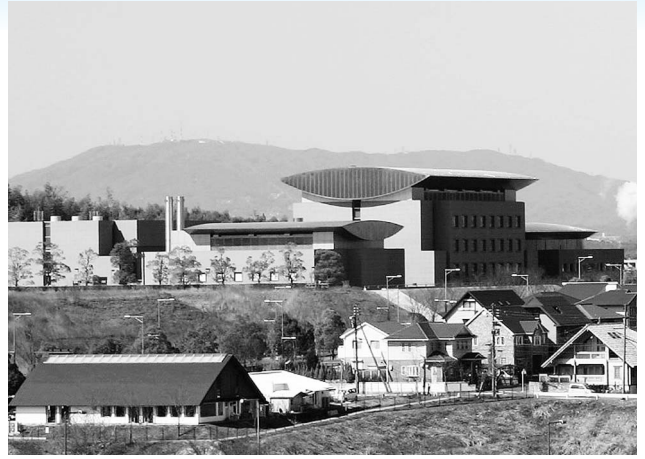
産 業

○ 農業基盤整備の推進 5,446万円

農業振興、生産効率の向上を図るため北綺田地区ほ場整備事業、木津かんがい排水事業などを引き続き実施します。

○ 企業・研究施設の誘致 1,960万円

木津川市企業立地促進条例に基づき、市内に立地する企業に対する助成金の交付など企業誘致に取り組めます。



木津南地区に立地する研究施設

不況対策

○ 中小企業融資保証料及び利子補給補助 1,850万円

京都府中小企業融資制度「小規模企業おうえん融資」により融資を受けた方に、保証協会に支払った保証料や当初1年間に支払った利子に対して補給金を交付します。

その他

○ 地域ぐるみでの子どもの安全確保 2,660万円

市内の小学校に警備員を配置するとともに、地域ボランティアの方々の協力も得て、子どもたちの安全確保に努めます。

○ 予算・決算概要版の発行 98万円

この「予算のあらまし」と秋に発行する予定の「決算のあらまし」の印刷に係る経費です。



通学路見守りボランティア

○ 特別会計への繰出金

- ・ 国民健康保険特別会計 2億2,685万円
- ・ 老人保健特別会計 29万円
- ・ 後期高齢者医療特別会計 8,907万円
- ・ 介護保険特別会計 4億5,892万円
- ・ 公共下水道事業特別会計 9億7,716万円
- ・ 簡易水道事業特別会計 5,262万円

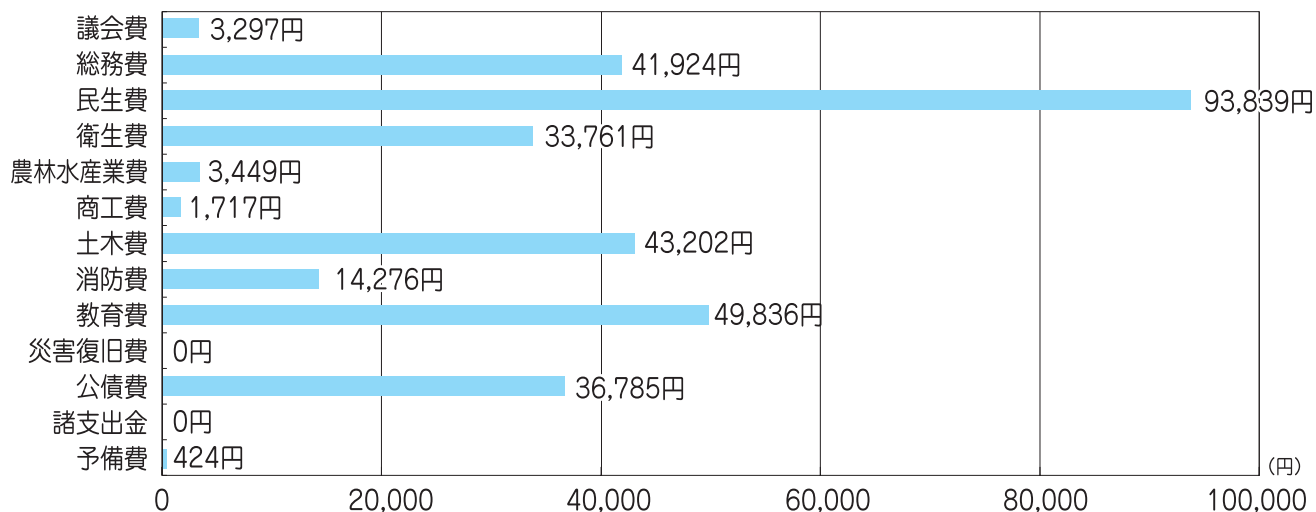
○ 一部事務組合等への負担金

- ・ 相楽郡広域事務組合 2億5,749万円
- ・ 相楽郡西部塵埃処理組合(再掲) 1億7,908万円
- ・ 後期高齢者医療広域連合 3億8,548万円
- ・ 相楽中部消防組合 9億 527万円
- ・ 山城病院組合 3億7,446万円

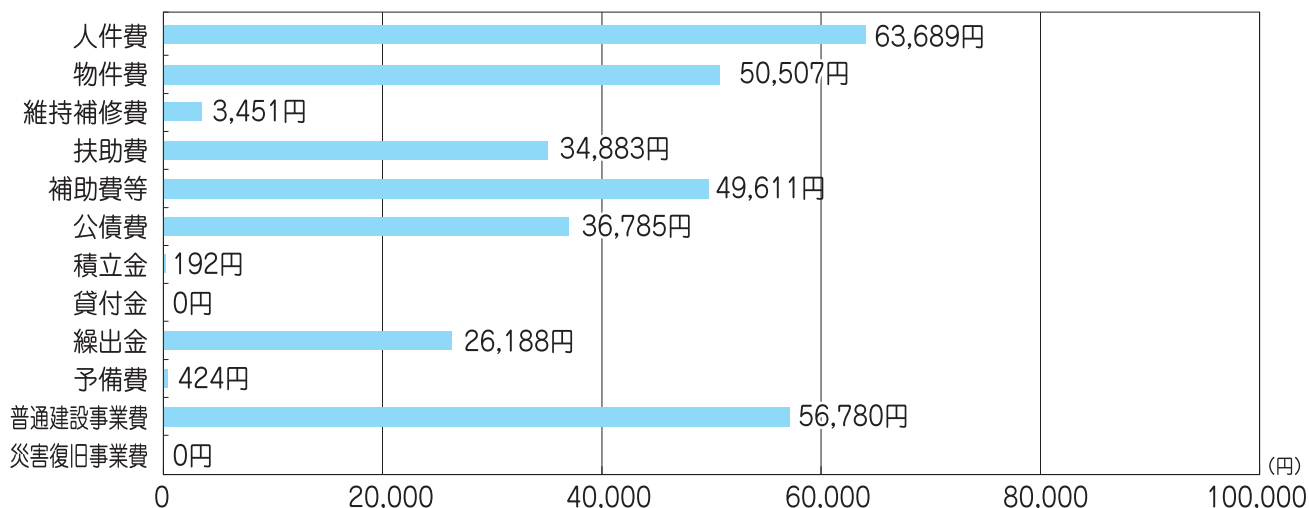


市民ひとりあたりの予算額

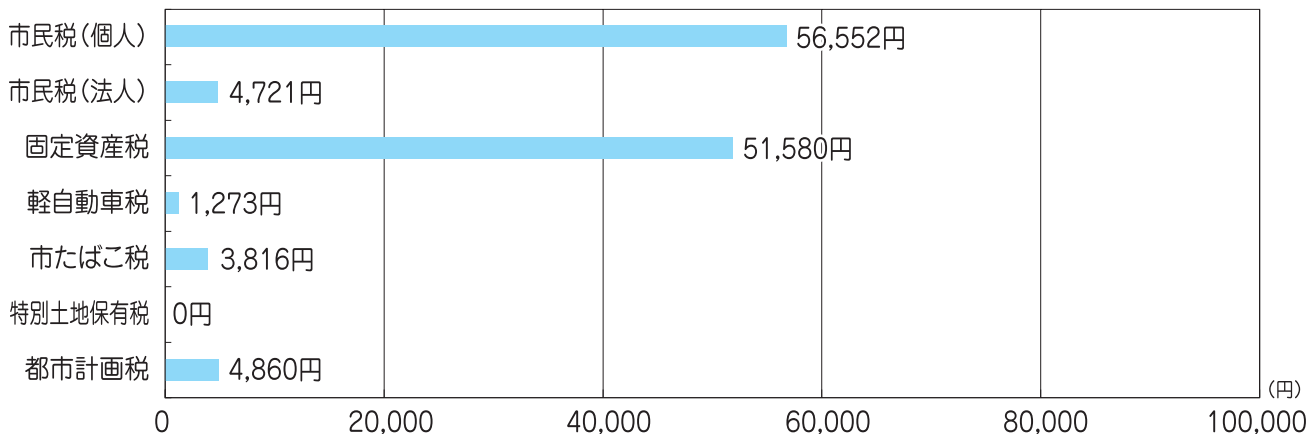
歳出予算額（目的別）



歳出予算額（性質別）



税負担額



金額は、平成21年度の予算額を平成21年4月1日現在の木津川市全人口(68,922人)で割ったものです。

木津川市の家計は



平成21年度の一般会計予算では、市民一人あたり約32万2,000円のお金を使う計画となっています。この金額を、ひと月の生活費と考えて、一般家庭の家計に例えて紹介します。

収入(歳入)		今月 (平成21年度)	先月 (平成20年度)	支出(歳出)		今月 (平成21年度)	先月 (平成20年度)
月収(会社からの給料など) (市税、各種譲与税、交付金など)		220,050円	223,548円	食費 (人件費)		63,689円	63,658円
親からの仕送り (国庫・府支出金など)		45,287円	45,417円	医療費、学費など (扶助費)		34,883円	31,727円
ローンの借入 (市債)		34,440円	37,225円	光熱水費、日用品費 (物件費)		50,507円	50,226円
貯金からの引出し (繰入金)		22,733円	23,168円	子どもへの仕送り (繰出金)		26,188円	25,067円
				家の修繕・増改築費 (普通建設事業費など)		60,231円	73,619円
				ローンの返済 (公債費)		36,785円	36,577円
				町内会費、サークル活動など (補助費等)		49,611円	47,797円
				貯金 (積立金など)		616円	687円
合 計		322,510円	329,358円	合 計		322,510円	329,358円

わが家では、給料などの月収が約22万円あります。

一方、支出の合計は、約32万2,000円です。

そこで、親から約4万5,000円の仕送りを受けていますが、それでもまだ収入が不足していますので、家の修繕・増改築費用の一部を借金するほか、貯金を引き出してやりくりしています。

月収が先月より減ります

わが家の月収も世界的な経済危機の影響から先月(前年度当初予算)と比べ1.6%、約3,500円(市予算額で約2億4,100万円)の減収を見込んでいます。

医療費や学費、町内会費・サークル活動費などが増加しています

医療費や学費、町内会費、サークル活動費などが増加しており、今後、行財政改革に取り組み持続可能な行政運営を目指していきます。

家の修繕や増改築費を減らしました

家の修繕や増改築では、必要性の高いものだけにしました。このためローンの借入も昨年度より減らします。

また貯金を引き出します

事業を行うには予算が必要です。このため足りないお金は貯金(基金)を取り崩して予算を組んでいます。しかし、実際にお金を使う段階で節約して、貯金(基金)を取り崩す額を少なくするように努めます。

平成21年度 木津川市予算のあらましの発行にあたって

地方自治体を取り巻く環境は、大きく変化しており、本格的な少子高齢化や人口減少時代を迎え、少子高齢化社会への対応、またインフルエンザ対策などの安全安心対策も喫緊な行政課題となっています。また、昨年のアメリカ発の金融危機は100年に一度といわれる世界的な経済危機をもたらし、国の税収の大幅な減少が見込まれる中、地方財政にとりましても、極めて厳しい状況を迎えていると考えております。

このような社会情勢の中、全国的にも稀な人口が増加し続けている木津川市ではありますが、人口の増加に伴う医療費を始めとする扶助費の大幅な増加に加え、道路や河川、下水道などの都市基盤整備や学校などの教育施設の建設など早急に対応しなければならない課題が山積しており、財政的には大変厳しいところではありますが、人口の増加に伴う市の活力の維持を考えますと将来の木津川市の発展には欠かせない事業であります。

クリーンで誠実な市政の実行、積極的な情報開示によりますます開かれた市政の推進は、私の政治理念であります。今後の木津川市の財政を展望いたしますと、自治体運営の透明性を向上させ、市民の皆様にも増して木津川市の財政に関心を持っていただき、市民の皆様と共に考え、共に運営する市政の推進に向けて取り組んでいきたいと考えております。

この冊子では、平成21年度の木津川市の予算が、どのような事業にどのぐらい必要なのか、また健全な財政運営に向けて、どのように取り組もうとしているのか等、グラフなどを活用しながら、市民の皆様にご覧いただけるように作成いたしました。

2歳になったばかりの木津川市ですが、最先端の科学技術を誇る関西文化学術研究都市として、また、ロマン溢れる豊富な文化財や、豊かな自然環境を身近に感じることができるこのすばらしい木津川市を、住んで良かった、住み続けたいと思っていただけるよう健全な財政運営に努めてまいりますので、引き続きまして市民の皆様のご理解とご協力をお願い申し上げます。

京都府木津川市長 河井規子

広報きづがわ 別冊

平成21年度 木津川市予算のあらまし

発行 平成21年6月
木津川市役所 総務部 財政課
住所 木津川市木津南垣外110-9 (木津川市役所4階)
電話番号 0774-72-0501 (代表)
0774-75-1202 (財政課ダイヤルイン)
F A X 0774-72-3900
ホームページアドレス [http:// www.city.kizugawa.lg.jp](http://www.city.kizugawa.lg.jp)
E-mail zaisei@city.kizugawa.lg.jp